

シンポジウム

「木造旅館の未来を考える—歴史的価値を有する大規模木造宿泊施設の安全性能を如何に確保するか」

<主催> 日本建築学会 歴史的価値を有する大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別調査委員会

『歴史的価値を有する大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別調査委員会』の前身委員会である『歴史的大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別研究委員会』は、「歴史的な価値を持つ大規模な木造の宿泊施設について、耐震や防火の対策を中心にどのように安全性能を確保していけばよいのかを、技術と法制度の面から分野横断的に調査研究する」ことをテーマに、2015年4月から2017年3月まで活動し、230頁からなる報告書(☆)を作成した。本シンポジウムでは、その成果などを報告するとともに、2018年度未刊行予定の書籍『歴史的大規模木造宿泊施設の安全性能確保の考え方・同解説』(仮題)の概略案を提示し、関係の皆様のご意見を伺い、今後の活動や前述書籍作成の参考にしたい。

日 時： 2017年12月19日(火) 13:30~18:00

場 所： 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

内 容 (各講演の題目等は変更されることがあります)

司会： 上北恭史 (筑波大学)・藤田香織 (東京大学)

記録： 濱 定史 (山形大学)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 主旨説明 | 新宮清志 (本委員会委員長、日本大学名誉教授) |
| 2. 講演 | |
| (1) 耐震安全性能 | 花里利一 (耐震安全性能小委員会主査、本委員会幹事、三重大学) |
| (2) 防火 | 森山修治 (防火小委員会主査、本委員会幹事、日本大学) |
| (3) 法制度 | 後藤 治 (法制度検討小委員会主査、本委員会幹事、工学院大学) |
| (4) 計画 | 鯨坂 徹 (計画検討小委員会主査、本委員会幹事、鹿児島大学) |
| (5) 富士屋ホテル調査 | |
| a. 学会側からの報告 | 八木真爾 (佐藤総合計画) |
| b. ホテル側からの報告 | 大石泰生 (富士屋ホテル) |
| 3. 書籍『歴史的大規模木造宿泊施設の安全性能確保の考え方・同解説』(仮題) 概要案説明 | 新宮清志 (前掲) |
| 4. 総合討論 | 進行役： 上北泰史 (前掲) |
| 5. まとめと今後の展開 | 長谷見雄二 (本委員会幹事、早稲田大学) |

(☆) 参考資料 (別売)：

『特別研究 57 歴史的価値を持つ大規模な木造宿泊施設の耐震的・防火的安全性を確保するための技術的・法的側面からの調査研究』(2017.3)、定価：1,900円

会場横の建築書店にて販売しております。当日は混雑しますので、必要な方は事前のご購入をお願いいたします。

購入ページ：<https://www.aij.or.jp/books/categoryId/712/productId/612075/>

定 員：150名 (申し込み先着順)

参加費：会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 1,000円 (資料代 1,000円含む、当日現金払い 参考資料は別売)

申込方法：本会HP「催し物・公募」よりお申し込みください。<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612677>

問合せ：事務局事業グループ 中村 Tel.03-3456-2057

※シンポジウムの動画配信(有料)も行っております (<https://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>)